

令和7年度 第1回地域連携推進会議 議事録

開催日時	令和7年11月5日(水)14:00～16:00
主催	障がい者支援施設 南陽の里
開催場所	障がい者支援施設 南陽の里 支援センター1階
参加者	地区会長 Aさん 地域民生委員 Bさん 家族会長 Cさん 利用者 Dさん 入所者 Eさん 入所者 施設長 横山施設長 介護部門 山口介護係長 相談部門 長谷川相談係長(記録)
(1) 開会・主催者挨拶	施設長挨拶 地域連携推進会議の開催趣旨の説明をする。 会議内容に関して、議事録を作成し、ホームページで後日公開することを説明する。
(2) 参加者紹介	参加者表をもと、順番に自己紹介をして頂く。
(3) 施設運営の状況	施設長より 施設パンフレットを用いて事業の説明を行う。 職種、職員数、外国人職員、事業の種類等。 令和6年度決算報告書類を用いて運営状況を説明する。 法人全体と南陽の里決算報告を行う。
(4) 意見交換・質疑応答	「家族会会長」 施設の利用を希望した際、相談先が分からず戸惑う場面があったが、最終的には人づてにより情報を得ることができた。 「民生委員」 地域の繋がりが薄くなっている。地区会長さんから教えてもらい情報を得ている。その情報も収集できていない場合がある。孤立しているケースもある。コロナ禍の影響もあり、日常の関係が薄くなっている。お互いに顔のわからない関係性になっている。民生委員への相談は難しい状況である。 「地区会長」 防災について地区長の立場として各家庭の構成については把握している。隣の地区に関してまで、把握していません。 水害の場合、浸水区域 「南陽の里」 南陽の里から防災訓練を地域の方と一緒に実施したいと希望を申し上げる。 「介護係長」 水害の場合、50cmの浸水区域。人がいなければ全員の垂直避難が困難です。2階へ誘導するには時間がかかる。ベッドを最大に上げたり、川から近い居室から避難誘導を考えている。 「相談係長」 地域貢献について 南陽市社会福祉協議会を中心に学校、高齢者サロン等へ出前講座(介護、看護、栄養、リハビリ、相談等)を実施している。児童施設(ゆうあいくらぶ)でおもちゃ図書館を実施している。(2回/月) 「利用者Dさん」 自助、共助、公助の3つがある。共助の部分でコミュニティとの関わりを持つには、施設で夏祭りに参加をしていただければこの施設のことを知ってもらえると思う。常に関係を持つことが大事です。 「利用者 Eさん」 障がい者になって4年ぐらい。ここに来て半年で、よくわからないですが、いろいろ知りたいと思っています。
(5) 連絡事項・事務連絡	参加承諾書と個人情報の取り扱いについて再確認し、提出頂く。

	会議の円滑な運営を目的として、次回開催時期の早期通知および参集体制の確保に関することを確認した。
(6) その他	特になし。
(7) 閉会	閉会后、地区会長 A さん、地域民生委員 B さん 施設内見学行う。